

KEY STAGE2（小学校 第4学年）地球未来科学習指導案

1. 単元名 伝えよう広げよう安心院の饅絵！

2. 単元目標

A. 捉える（関わる）力

- 安心院の饅絵や饅絵に関わる人々とくり返し関わりながら、友だちと協力して「饅絵」について調べたり、饅絵を多くの人に広げる方法を考えたりすることができる。饅絵に関わっている人たちのふるさとやふるさとの文化を大切にしたいと思いに気づき、自分たちにできることを考えることができる。
- 学習の活動を通して、お互いのよさに気づき合い、自分の成長に気づくことができる。

B. 解決する力

- 安心院の饅絵について、地域の人と関わりながら、調査・体験活動をしたり、インタビューをしたりして、必要な情報を収集することができる。
- 調査・体験活動やインタビューから分かったこと、感じたことを、思考ツールを使ったり、グループで話し合ったりして整理分析し、まとめることができる。

C. 英語をツールとしたコミュニケーション力

- 饅絵に描かれているものの英語表現を知り、ALTと一緒に饅絵めぐりをしながらお気に入りの饅絵を紹介することができる。

3. 単元設定の立場

4. 指導計画（40時間）

学習	時	学習活動と予想される子どもの反応	評価規準（つげい力）	教科との関連
課題設定	1	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3年生の学習を振り返ろう。今年は何をしようかな。</p> <p>○3年生での「七不思議探検」の取り組みを振り返り、今年取り組みを考える。 ・昨年までの4年生は饅絵について調べていた。自分たちも先輩たちの活動を見習って、ふるさと安心院の文化である「饅絵」について学習していきたい。</p>	○昨年の活動を振り返り、先輩の活動を参考にして、今年活動を考えることができる。（A-1・B-3）	
	2	<p style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center;">饅絵ってどんなもの？安心院の饅絵調査隊！</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">安心院の饅絵について調べよう。</p> <p>○饅絵についてウェビングマップでイメージを広げる。 ・饅絵 ・ある場所 ・絵や写真 ○自分のウェビングマップに書いていることをもとに、調べること、調べる方法を考える。 ・なんで安心院に多いの ・どれくらいあるの ・なんのため ・インターネット ・図書 ・詳しい人に聞く（ゲストティーチャー） ○饅絵について、自分で決めた方法で調べる。 ・インターネットや図書で分かる範囲で調べる。 ・家族、親戚の人などに聞いてみる。（インタビュー） ・お気に入りの饅絵のことを詳しく調べる。・実際に行ってみる。 ○饅絵について調べた事をもとに、整理し、新聞にまとめる。 ・お互いの新聞を見て饅絵の情報を知り合う。 ・自分の知らない饅絵があるよ。・実際に行った人もいる。 ・自分も行ってみようよ。・みんなで行ってみようよ。</p>	○饅絵という言葉から思いうかが言葉を書くことができる。（B-3） ○進んで調べ学習をすることができる。（A-1・B-2） ○調べたことととも、相手に見やすく整理できる。（B-3・B-4）	国語（3） （新聞を作ろう）

情報収集・整理分析	<p>4</p> <p>〇鏝絵についてもっと詳しく調べよう。ガイドの人と一緒に鏝絵めぐりをしよう。</p> <p>〇鏝絵見学に行く計画を立てる。 ・マップのコース ・記録（メモ）</p> <p>〇散策ガイドのゲストティーチャーと一緒に鏝絵探検に行き、自分の知りたいことを質問しながら、気付いたことをメモする。 ・絵について・いつ頃の作品・作者（日本一の作品） ・安心院の鏝絵の特徴 ・日本一の密集度・日本一の作品と作者 ・左官さんのお礼の気持ち・家主の願いが込められている ・保存活動（昔の鏝絵が傷んでいる・鏝絵を作れる左官さんが減っている） ・お客さんはどれくらい？・海外のお客さんもいるらしい ・ラシュレ（鏝絵通りの立ち寄り場所）に先輩の作品が飾っている ・鏝絵を作ってみよう！→日本一受賞の鏝絵作者に教えてもらいたい</p> <p>〇新しい鏝絵と古い鏝絵も一緒にあるのはどうしてか考える。 ・古いものは大切に残していきたい。 ・新しい鏝絵も増やして、鏝絵通りに多く集めたい。</p>	<p>〇関心を持って鏝絵めぐりをし、見たり聞いたりしようとしている。（A-1）</p> <p>〇話し手の内容をメモに取ることができる。（B-2）</p> <p>〇鏝絵を大切にしようとする人の思いに気が付くことができる。（A-4）</p>	<p>社会 （わたしたちの宇佐市）</p>
	<p>2</p> <p>日本一を受賞したことがある鏝絵作家の人に教えてもらって、作品作りにチャレンジしよう。</p> <p>〇鏝絵作家の江藤さんに教えてもらいながら、自分なりの願いを込めて鏝絵を作ってみたり、聞きたいことを質問したりする。</p> <p>〇鏝絵作りの振り返りをする。 ・初めての経験ができて良かった。・おもしろかった。・難しかった。 ・江藤さんは安心院の鏝絵が好きで、大切に守りたいんだな。 ・色んな所に教えに行っているんだな。 ・鏝絵を色んな人に知ってもらいたい、見てもらいたい。</p>	<p>〇鏝絵に込められた願いを考え、安心院の鏝絵の特徴や作り方に関心を持って取り組んでいる。（A-1）</p> <p>〇これまでの活動を振り返り、学んだことをシートに書くことができる。（A-3）</p>	<p>図工（2） 願いをこめた野菜とフルーツ（鏝を使って）</p>
整理分析・課題設定	<p>安心院の宝、鏝絵の魅力を広げ隊！</p> <p>鏝絵に関わる地域の人の願いとこれからの活動を考えよう。</p> <p>2</p> <p>〇これまでの学習を振り返って、鏝絵に関わる、鏝絵散策ガイド・観光協会・鏝絵作家の人たちが教えてくれたことや体験させてくれたこと、鏝絵について分かった事実を整理し、鏝絵に関わっている人たちの願いや魅力を考える。</p> <p><願い></p> <p>・もっと鏝絵を知ってもらいたい。・鏝絵を大切に守りたい。 ・これからも鏝絵を増やしたい。・見に来てほしい。</p> <p><魅力></p> <p>・日本一の密集度である・日本一を受賞した作家がいる ・左官さんから家主さんへの温かいプレゼント ・願いや意味が込められている ・昔の物も今の物もある （クラゲチャート：理由付ける）</p> <p>〇鏝絵に関わる人の願いや魅力と鏝絵通りのお客さんの推移をもとに次の学習課題（自分たちがしたいこと）を考える。</p> <p>・もっと鏝絵の魅力を知ってほしい。（伝えたい） ・見に来てもらう活動をしたい。（広げたい） （たいチャート：理由づける・焦点化）</p>	<p>〇鏝絵に関わる人たちがしていることを整理することができる。（B-3）</p> <p>〇自分たちも鏝絵に関わり、できることをしたいという意欲を持つことができる。（A-1）</p>	

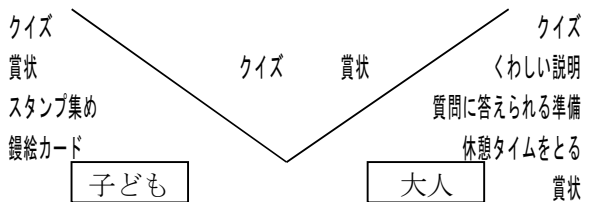
整理分析・まとめ・表現	2	<p>たくさんの人に安心院の宝、鏝絵の魅力を伝えて広げる作戦を考えよう。</p> <p>○昨年までの活動を調べ、自分たちに何ができるか、何をしたらいいか、相手や方法を考える。 <誰に> ・お家の人へ・地域の人へ・地域外の人へ・お年寄りが多かった・観光客もいた・高校生も来てくれたらいい <どんな方法で> ・チラシを作って配る・ポスターをはる ・鏝絵めぐりガイドツアーをする <先輩たちの活動を参考にすると> ・チラシやポスターを作ってみよう・自分たちもガイドをやってみよう・高校生のお客さんが本番でアドバイスをしてくれたらいい・自分たちも高校生にアドバイスがもらいたい。</p>	<p>○進んで、自分ができる鏝絵を広げる方法や相手を考えることができる。(B-3)</p> <p>○カードを使い、整理分析することができる。(B-3)</p>	国語 (よりよい話し合いをしよう)
まとめ・表現	4	<p>鏝絵散策ガイドツアーの準備をしよう。</p> <p>○鏝絵散策ガイドツアーの準備をする。 ・お気に入りの鏝絵をグループごとに分担する。 ○アップとルーズを参考に説明文に必要な資料を整理する。 ○鏝絵の紹介文作りをする。 ・作られた年代や作者・鏝絵に込められた願いや意味や工夫の紹介 ・それぞれの鏝絵のユニークなところ・自分の感想など ○紹介文の説明練習をする。</p>	<p>○友だちと協力して、紹介文作りをすることができる。 (A-1・B-4)</p>	国語 (調べたことを整理し、発表しよう) (アップとルーズで伝える)
情報収集	2	<p>鏝絵散策ガイドツアーのリハーサルをしよう。</p> <p>○鏝絵散策ガイドツアーの発表を聞き合い、評価し合う。 ○高校生をお客さんとして鏝絵散策ガイドのリハーサルをし、感想やアドバイスをもらう。(アンケート) ・よく調べていて感心した・自分たちの知らないこともあった・もっと自信を持って受け答えをできるようにしてほしい・良かったから、もっとたくさんの人に伝えてほしい・鏝絵についての質問やアンケートに答えてもらいたいよ・参加するお客さんはどんな人(年齢など)かを想定するのも必要だよ・説明内容の良さと楽しさの両方あったらいいと思うよ。</p>	<p>○友だちと協力してガイドツアーの練習に取り組むことができる。(A-1・2)</p> <p>○お互いの評価や高校生GTのアドバイスを次の活動に活かそうとして聞いている。(B-2)</p>	
整理分析	3	<p>鏝絵散策ガイドツアーの改善策を考えよう</p> <p>○ガイドツアーを振り返り、高校生からもらった感想やアドバイス、お互いの評価を、よかったこと、練習で解決できること、問題点や疑問、その他の感想等の視点で分類し、分析する。 ・感心してくれた内容は本番でも言いたい・良かったことはもっと良くしよう・声の大きさや身振りはもっと練習した方がいい・問題点はなんとか改善したいな・質問に答えられるようには調べておこう・お年寄りは元気な人と歩くのが大変な人がいる・パンフレットを作ってみようよ・色んな相手のこと(子どもから大人まで)を考えないといけない・楽しく喜んでもらう作戦も考えてみようよ。 ○分析したことをもとに、どのお客さんも参加してよかったと思ってくれるような作戦を子ども(高校生まで)も大人も(お年寄まで)も楽しめる視点で考える。(Vチャート: 比べる・同じを見つける) (本時) (作戦)・鏝絵クイズ・スタンプラリー・賞状を・ラッシュレで休憩タイム・鏝絵カード・詳しい説明・質問の受け答え</p>	<p>○練習を振り返り、課題となることを分類し、改善策を考えることができる。 (B-1)</p>	
まとめ・表現	2	<p>○考えた作戦を取り入れて、ガイドツアーの全体を見直し、改善する。 ・鏝絵に込められた願いをクイズにもしてみよう。 ・初めて見に来た人にも分かりやすくパンフレットを作ろう。 ・リーフレットにクイズやスタンプを入れてみよう。 ・休憩の時にはワインやスッポンも紹介しようかな。 ○鏝絵を紹介するリーフレットを作る。 ○お互いの発表を評価し合い、ガイドツアーの仕上げをする。 ・お互いの良さを取り入れて、最終バージョンを確認する。</p>	<p>○視点を持って、評価したり、改善策を考えたりできる。(B-1)</p>	国語 (リーフレットを作ろう)(3)

まとめ・表現	4	<p>ガイドツアーを知らせるチラシを作って配ろう。</p> <p>○新聞広告チラシなどを参考に、鏝絵ガイドツアーを知らせるチラシを作る。 ・必要な情報を考えて作る。(日時、場所、必要なもの、イベントの名前、キャッチフレーズ、絵や写真、地図など) ○互いのチラシを評価しあい、問題点を改善して完成させる。(P&Sシート：見通しを持つ) ○お客さんを集めるのに効果的な場所を考え、チラシを配る。</p>	○手を意識して、みんなに分かりやすいチラシの工夫をすることができる。(B-4)	国語 (リーフレットを作る)
まとめ・表現	4	<p>鏝絵散策ガイドツアーを実行しよう。</p> <p>○鏝絵の魅力をしっかりとお客さんに伝え、楽しんでもらえるようにガイドを行う。 ・グループ活動を中心として、自分の役割をきちんと果たし、助け合いながら活動する。</p>	○友だちと協力して活動することができる。(A-1)	
整理分析	1	○お客さんからのアンケートを整理・分析し、まとめをする。 (座標軸：分類、評価) 鏝絵散策ツアーを行い、お客さんからアンケートをもらう。	○視点を持って、評価することができる。 (B-1)	
まとめ・表現 (振り返り)	3	<p>○鏝絵ガイドツアー活動を振り返る。</p> <p>○鏝絵の活動を中心にウェビングをし、はじめに行ったウェビングマップと比較する。(ビフォーアフター：比較、変容を捉える)</p> <p>○単元を通して新しく分かったこと、身についた力などを作文にまとめる。</p>	○活動を振り返り、自分の変容を捉えることができる。(A-3) (A-4)	

英語ツール	3	<p>○色や鏝絵に出てくるどうぶつ、ものなどの英語表現を知る。 (red, water, purple, wine, . . .)</p> <p>・外国の壁画やレリーフなどを写真で見、鏝絵との違いを知る。</p> <p>○鏝絵に出てくるものの英単語クイズをする。</p> <p>○好きな鏝絵を紹介する。</p>	<p>○鏝絵に関する英単語を使って楽しくゲームやクイズをしている。(C)</p> <p>○外国のレリーフや壁画との違いに関心を持っている。(A-1)</p>	
-------	---	---	--	--

5. 本時案 (全体：20 / 40時間)

- (1) 活動名 どのお客さんにも参加してよかったと思ってもらえる作戦を考えよう。
- (2) 主眼 鏝絵ガイドツアーのお客さんに参加してよかったと思ってもらえる作戦を、子どもも大人も楽しめるかの視点で共通点をさぐることを通して、考えることができる。
- (3) 展開 (45分)

学習活動	時	指導上の留意点	評価
前時までに鏝絵ガイドの練習をし、高校生からの評価や自分たちの評価で良さや課題となることを分析し、大人向け、子ども向けの作戦を自分なりに考えている。本時は、それを交流して共通する作戦を考える時間である。			
1. これまでの活動を振り返り、本時の課題をつかむ。	5	○鏝絵ガイド練習を振り返り、たくさんのお客さんに来てもらい、魅力を伝えるには、子どもも大人も満足するような作戦を考える必要があることを押さえて、本時の課題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 子どもも大人も参加してよかったと思ってもらえる作戦を考えよう。 </div>	
2. 一人ひとりの考えをグループごとに話し合い、作戦をまとめる。	20	○本時の考える技とルーブリックを示す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 考える技 <比べる> <同じを見つける> ルーブリック S~A+作戦と作戦を結び合わせよりよい作戦を考えたい A~考えを比べ、大人と子どものどちらも参加してよかったと思う作戦を見つけた B~自分の考えを理由づけて、Vチャートに位置付けた </div> ○前時に自分の作戦を付箋に書かせているので、これまでの振り返り（掲示物）をもとにその理由を説明させ、Vチャートの右に大人向け、左に子ども向けの作戦を位置付ける。理由についても位置づけ、子ども向け大人向けのそれぞれの特徴が分かるようにしていく。 <div style="text-align: center;">  </div> ○子どもも大人も楽しめるかの視点で話し合いながら、どちらにも共通点のある作戦を見つけ出し、Vチャートの真ん中に位置づけてまとめる。 ○作戦は複数を含わせてもよいことにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・クイズ…子ども大人も楽しめる + ・賞状…クイズの全問正解であげよう ・ラッシュで休憩…お年寄りにも子どもにもいい + クイズ + 賞状 ・説明…大人には意味や願いで子どもにはビー玉が使われている、「日本」などでおどろく ・パンフレット…絵を入れると分かりやすい ・鏝絵カード…思い出になるかも </div>	○お互いの作戦を子どもも大人も楽しめるという視点で理由をもとに比べて、Vチャートに位置づけて、共通点を見つけることができる。(観察、振り返りカード)
3. グループごとの考えを交流する。	15	○それぞれグループでどんな作戦を考えたとともに発表させる。 ○他の班の作戦について、良いと思ったアイデア、質問したいこと、問題点などを考えながら聞かせるようにする。 ○黒板に位置付けながら、子どもたちの意見の共通点を板書にまとめていく。	
4. 学習の振り返りをする。	5	○本時の振り返りとともに、次時のめあてや課題も書くように助言する。 ○めあてに沿って自己評価を書かせる。	